

八頭高校だより

第76回 卒業生





卒業生の皆さんへ

卒業生に贈る言葉



PTA会長 井上 誠

2025年 春 卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。

三期間の月日は早かったでしょうか？それとも長

かったでしょうか？
2022年、皆さんの入学式ではマスク姿が当たり前の環境でした。鉄塔の上ではコウノトリが巣作りを始め、校内の桜の木には満開の桜が皆さんを歓迎してくれていた中で入学式を迎え、沢山の夢や希望を胸に高校生活をスタートさせた年でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は高校生活を中々自由にさせてくれるものではなかったですが、2022年・2023年・2024年と年を迎える毎に緩和されていき、今ではマスクを付ける事無く皆さんの楽しい笑顔が拝見できるようになりましたね。

高校生活での、毎日の通学時の思い出・各行事や部活動・日々の校内で過ごした友達との沢山の出来事・支えてくれた家族とのやりとりなどこのメッセージを見ている頃には楽しい思い出・悔しかった思い出が走馬燈の様に頭の中を巡らせている事かと思えます。

高校三年間で経験した日々の事柄は決して楽しい事ばかりでは無く、沢山の事にチャレンジし、思うようにならなくて失敗して悔しかった事や悲しかった事、すごく悩んだ事などもあった事でしょう。

その経験で得たもの全ては、皆さんの今後の次のステップに向かう為の大事な経験なんだと思います。

そんな卒業生の皆さんに人生の先輩として少しいアドバイスさせていただきます。

この春から皆さん一人一人違う環境へ進まれる事と思いますが、共通していえる事は、大きくても小さくても良いです！

『夢・目標を持って毎日の生活を送って欲しい！』夢はどんどん変わっていきばいい！今考えてる夢・将来的に考えてる夢、大ききも関係ない。

失敗をする事を恐れず、どんどんチャレンジして欲しいです。色々経験して悩んでみる事も無駄ではありません、うまくいかない事が当たり前です。

これから長い人生、まわり道してみる事も必要です！そう心に刻み今までの沢山の経験を活かして夢に向かって進んで欲しいです。

夢は見るだけの物ではありません！叶える物です！どんどんチャレンジしてください。

そしてこの三年間指導頂きました先生方、有難うございました。保護者代表としてお礼申し上げます。

また日々子ども達の成長をサポート頂いた保護者の皆様お疲れ様です。

これからも人生の良き先輩として何か困った事が起きたら一番の相談者になれる様、引き続きよろしくお願い致します。

卒業おめでとう 保護者より

西本 広美

卒業生の皆さんご卒業おめでとうござい

ます。
学業・部活・学校行事等、沢山の思い出を作られたと思います。

十八年間、学んだ事は必ず皆さんの力となるでしょう。

卒業後は、皆それぞれの道へ進まれますが、これからの人生、悩んだり苦しんだりすることもあるかと思えます。周りを見て

ください。皆さんは誰かの大切な宝物です。頼ってください。

人との関わりを大切にして歩ずつ歩いていきますように、また、皆さんが元気に笑顔で過されまますようにお祈りしています。

松岡 恵子

ご卒業おめでとうございます。

「青春ってすごく密なんだ」大きな反響を呼んだこのフレーズ。皆さんは、新型コロナウイルス感染症と向かい合う日々を過ごしてきました。学校生活を彩るはずの学校行事が制限され、仲間との体験を分かち合う貴重な機会が奪われていました。そんななかでも、様々なアイデア、知恵や情熱を注いで貴重な学びや体験を積み重ねてきました。

これからの人生の糧になるでしょう。可能性を秘めた皆さんが、また大きな力を発揮してくれることを願ってエールを送ります。

三上 美穂

卒業生の皆さんご卒業おめでとうござい

ます。
期待や不安を胸に入學したあの日からあつという間の三年間が経ちました。

二年時には新型コロナウイルス感染症が五類となり、新しい形での行事などを模索しながら楽しい学校生活や部活動に励むことが出来ました。その中で目標達成した時の喜び、逆に思うような結果が出ず悔しい思いをしたりと、たくさんの経験からひと回りもふた回りも大きく成長したのではない

でしょうか。この経験は、これからの人生において、大きな自信となり、さらに成長することにつながると思います。

また、この三年間で出会った新しい仲間、時には厳しく指導してくださった先生方、温かく見守って頂いた地域の方々など皆さんの方々に助けられました。この皆さんからの支えを決して忘れることなく、新しい場所で輝かしい花を咲かせてください。

これからも夢に向かっていろんな事にチャレンジする姿と更なる活躍を心より祈念いたします。

岸井 恭子

卒業生の皆さんご卒業おめでとうござい

ます。
桜が咲いていた入学式から早いもので三年が経ちましたね。スキー研修・探究活動・翠陵祭・校内模試・実力テスト・修学旅行や部活動など様々な思い出をつくる事ができたのではないでし

うか。たくさんの経験は、これからの人生を乗り越えるための道しるべとなってくれることだと思います。

これからも周りの人への思いやりと感謝の気持ちを忘れずに成長してください。

また新たな道を進んでいく皆さんの未来が幸多きことを心から祈っています。

安部 泰己

ご卒業おめでとうござい

ます。人生において大変大切なこの三年間の高校生活を卒える時期を迎えました。

皆さんが学業やスポーツ、文化活動において、一生懸命努力し、素晴らしい成果を上げてきたことに、心から敬意を表します。皆さんの努力は、ただの成績や結果に留まらず、人として成長する素晴らしい過程であったと思います。

私が高校生の頃に古典の先生より「刀は武士の魂」の意味はと問われ、刀は自身の命に等しいものと捉えていました。先生からは自分自身が刀と一体となり戦っていくことだと教えられ、大変感銘を受けたことを思い出しています。

これから皆さんは、新たな道を歩み始めます。皆さんがここで身につけた知識、経験、そして友情は、これからの人生の困難にも、自分自身が刀となり立ち向かう力になると信じています。



卒業生の言葉 *Thank you very much.*

☆三年組 田中竜次

八頭高校で過ごした三年間は、部活動と寮生活によって大きく成長しました。部活動では仲間と共に目標に向かって努力する楽しさを学びました。毎日の練習は厳しかったですが、試合での勝利や仲間との絆は何物にも代えがたい宝物です。特に、困難を乗り越えた瞬間の達成感、私の成長を促してくれました。

一方、寮生活では多様な友人と過ごし、互いに助け合う大切さを学びました。夜遅くまでの話し合いや、一緒に過ごした時間は、私の心に深く刻まれています。

部活動と寮生活は、私にとって単なる経験ではなく、人生の基盤を築く大切な時間でした。これらの経験を通じて得た友情やチームワークの精神は、今後の人生においても大いに役立つと信じています。卒業後も、この思い出を胸に、新たな挑戦に向かって進んでいきたいです。

☆三年一組 山本惺珂

私の高校生活は、たくさんの思い出があり、とても充実した三年間でした。

特にホッケー部での活動は、貴重な経験ばかりさせてもらいました。仲間と協力して全国大会に出場することが出来た時は本当に嬉しかったです。しかし、楽しい思い出だけではなく、思い通りにいかないこともあり、たくさん悩んだ時期もありました。その度に先生方や家族、仲間を支えてもらい、最後まで部活動を続けることが出来ました。どんな時も寄り添って支えてくださった全ての方に感謝しています。

ます。

八頭高校での三年間はあつという間でした。地獄のテスト期間。片道約七kmの遠足。減点だらけの翠陵祭。どれも八頭高校だから出来た思い出です。これからも八頭高校で学んだことや思い出を大切に一日一日を過ごしていきたいと思っています。三年間ありがとうございました。

☆三年三組 西口凱

高校生活は長かったような短かったような三年間でした。

僕が特に印象に残っているのは、部活動と三年のときのクラスです。

部活動の先輩はみんなクセがとても強く一緒にいてとても楽しかったです。そんな仲間たちと中国大会に行くことができたのはとても嬉しかったです。

しかし、最後の東部総体の個人戦で怪我をし、団体戦のメンバーに選ばれていたので、試合に出られなかったのが唯一の心残りです。

三年次のクラスの三組は、みんな元気で明るいクラスで、翠陵祭ではクラス全員と先生でダンスを思いっきり踊ったり模擬店を成功させるなど、三組だからこそできた経験をしました。大切な高校生活の思い出をこの八頭高校で過ごせて良かったと思います。

また、高校三年間僕達を支えてくださった先生方には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

☆三年四組 尾崎優太

私の高校生活は、様々なことに挑戦し続けることができた三年間でした。

中でも、部活動や生徒会活動などの経験を通して、私は仲間の存在の大切さに気づきました。日々の練習では、いつも切磋琢磨できる仲間がいたり、部活動との両立が難しくなかなか生徒会活動の準備が進まない時も準備を進めてくれる仲間がいたりしました。また、受験に向けても、面接練習などのサポートや受験の前日に応援メッセージの動画を送ってくれる友達もいました。

私は、八頭高校で高校生活を送ることができて良かったと心から思っています。これから、私たち卒業生は、それぞれの夢や目標に向かって、突き進んでいきます。

楽しい日々もあれば、辛い日々も待ち受けていると思いますが、この八頭高校で過ごした思い出を振り返り、頑張っていこうと思います。三年間お世話になったすべての方に感謝しています。本当にありがとうございました。

☆三年五組 松本悠那

私の高校三年間は多くの経験と成長ができた充実したものでした。その中でも最後の一年を共にした三年五組の思い出が印象的です。

三年五組はいつも互いを補い、助け合ってきたクラスです。体育祭のムカデ競争でスタートから見事に転んで一位を逃しても、人を攻めるのではなく笑い話として良い思い出にした時、本当に温かく底

抜けに明るいクラスだと実感しました。

日常の些細なことでも楽しんで、問題があればみんなで話し合い答えを導き出してきたクラスです。かけがえのない友達ができ、勉強して、苦悩して、それも楽しんで、発見と成長ができた誇りあるクラスです。この先の進路は違ってもこの一年の思い出は一生の宝物です。最高の思い出をありがとうございました。

☆三年六組 前田想

あつという間に卒業がやって来ました。高校三年間の中で三年六組は受験期を共にした特別なクラスです。休憩時間はワイワイ賑やかだけれど、授業が始まればきっちり勉強に向かいます。「やる時はやる!!」これが三年六組の強みです。楽しみにしていた翠陵祭。舞台祭が近づくと、声を掛け合い、休日も学校に集まって踊りの練習をしました。模擬店では交代の時間も忘れてひたすらこ

焼きを作った仲間たち。忘れられない思い出です。それが終われば毎週のようにやってきた模試の嵐。つらくなったときも、前向きに頑張るみんなの姿を見ると、「私もやったる!」と励まされ、背中を押されました。

どんなことにも一生懸命になった仲間たち。これからは、それぞれの道を歩んでいくけれど、みんなにまた会える日を楽しみに、私も新たな一歩を踏み出します。

ありがとう! 三年六組!!

学年主任 小林 貴文

Catchersinherveー三年間を詠む

あの頃のぼくを覚えている人とはしばらくぶりに
出会い、別れた
紺碧の列車はホームに滑り込み生徒を降ろさ
ずまた滑り出す
入れ替わりつみなマスクを外してはマイクの
前にしばらく話す
弁当にアスパラガスの肉巻きの断面ふたつなら
びて美し
膨らんで開いたらあとは少しずつ丈を伸ばして
いくチューリップ
どうなん？と訊けばふつ、と子はこたえふつ
うが今日もくりかえされる
一本の木と向き合って立っている私と向き合っ
て立っている木
バス停に閑さんがいて適当な距離を挟んでそれ
ぞれが待つ
このお焼き小さくなったんじゃないって言った
のはいつ 今日も小さい
出る體はとことん出せとせき立てるそうして
ひとりぼっちにするんだ
小松菜の塩焼きそばはほろ苦く花鯉ゆらゆら
とゆらめく
気の強さとは愚かさと思いつつ塀の向こうに夏
草しげる

バス停の地べたにアイスを頬張ってそのうちに来
るバスを待ちたい
できなかったことについて語るとききは誰よ
り誇らしげである
八掛けが当然と言う人がいて八の根拠は示さな
いまま

大将と呼び先生と呼ぶいまは中学の頃の呼び
名は呼ばず
大谷と同じ名前の翔平が向かいの席にページを
めくる
さよならと言うようにきみはおすすめ映画に
ついてぼくにたずねる

ふたりしてチキンレッグを齧りつつバス停までの
強き風のなかを
面談をしている女子がスカートの裾をめぐって
太ももを搔く
できたともできなかったとも言わず子は黙々と
親がにの身をとる

その木の名は忘れてしまった 歌にその木の赤
い葉を詠んだあの人
てんとう虫てんとう虫と指さしてあなたが笑
う、水玉靴下
こういう日もないとねという日であった麻婆
豆腐をビールで流す
奥付けにkanako 18の細い文字 『ライ麦
畑でつかまえて』

三年一組担任 柿本 琢也

229名の3年生の皆さん、ご卒業おめで
とうございます。

3年前の春に皆さんと出会い、ともに学校
生活を送る中で、3年間で80名の皆さんの担
任をさせていただきました。1年間だけだっ
た人、2年間だった人、そして、3年間ずつ
と私が担任だった7名の生徒たち。それぞれ
のタイミングで、それぞれの時間を一緒に過
ごすことができました。

新たな出会い、成長のチャンスです。今
の自分に必要な、もしくは足りないものを
持っている人と引き合わせてくれると私は
思っています。新しい何かを持っているかも
しない人との大切な出会いにドキドキして
ください。

そして、私自身が、人との出会いと同じよ
うに大切に考えていること。それが、本との
出会いです。知らないこと、行ったことのな
い場所、見たことのない景色、想像もできな
いような結末、自分が存在していない時代、
出会うことのない人たちなど、本を開くとと
んでもなくワクワクする世界が無限に広がっ
ていきます。

卒業後も、人との出会いと同じくらい、本
との出会いも大切にしてください。
(柿本文庫より)

三年二組担任 中田 靖直

皆さん、卒業おめでとうございます。

自分が高校を卒業したのはもう四半世紀も
昔になりました。その間、同級生の子どもに
も出会うなど、時の流れを感じるばかりです。

先日、保育園に通っている長女から「お父
さんはなんで怒るの？」と言われたら「お父
さんは娘にとって私は優しいお父さんではな
いようですが、ここで嫌（しつけ）について
記すと、基本的に親が子どもを逸脱行動を制
御して、社会のルールに沿った行動ができる
ようにすることであり、子どもが将来大人に
なると社会適応していくためのとても重要で
大切な家族の機能のひとつであります。

学校での私のスタンスとして、高校生は自
ら判断して行動できる人間であり、信用すべ
き人間であり、ましてや卒業後は成人として
扱われる人間であると考えています。多くは
語りませんが、皆さんが3年間で得た
知や徳が今後の活躍に活かされ、育み、何か
を成したといえる人生になることを期待して
います。

三年三組担任 垣田 貴子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。今日という日を迎えたことを誇りに
思ってください。それぞれが、この八頭高校
での毎日を楽しみ、時に悩み、努力し、努力
することが嫌になり、それでもまた努力し、
いろいろな日々を積み重ねて迎えたことで
しょう。

個人的なことですが、翠陵祭のクラスT
シャツのバックネームに「みんなのママ」と
提案してくれた時、とても嬉しく思ったのを
よく覚えています。学校の「みんなのママ」
として、みんなを支えられたなら。そう思っ
て日々過ごしてきました。そして、誰よりも



贈る言葉



校長

岡田 優

卒業生のみなさん、
ご卒業おめでとうござ
います。

本日、皆さんは緑ヶ丘の校舎を巣立ち、そ
れぞれの未来へと力強く羽ばたいていきま
す。この日を迎えるにあたり、皆さんの胸に
は、喜び、希望、不安、寂しさ、様々な思い
が去来していることでしょう。

みなさんは中学高校という多感な、多くの
経験を経るべき貴重な6年間で、未曾有の感
染症に直面しましたが、立ち止まることなく、



三年四組担任 濱崎 翔平

ダイヤモンドとは圧力に耐えて
改良された石炭だ

タイトルはアメリカで国務長官などを務めたヘンリー・キッシンジャーのことばだそうです。ダイヤモンドと石炭はどちらも炭素Cでありながら見た目や性質が異なっている同素体として授業で習いました。地下深くにある炭素が数百万年以上の長い間、圧力を受け続けることでダイヤモンドの輝きが生まれます。皆さんの未来は様々なプレッシャーにさらされるでしょうが、それを乗り越えることで成長できることを表しているのです。

私がこの学年に担任として関わったのは今年度の1年間ですが、さすが3年生と言いたくなるほどの成長を見せてくれました。学校祭では皆を引っ張る姿や時に責任やプレッシャーに負けそうになりながら役割を遂行する姿、志望校合格に向けて一心不乱に勉強に励む姿など記憶に残る姿ばかりです。私も負けてはいられません。これからも成長し続け、大きく飛躍することを期待しています。卒業おめでとう！



三年五組担任 岡本 尚也

拝啓ー229人の若人たちへー

3年生の皆さん、卒業おめでとう。3年前に八頭高校という学び舎に集い、今新たな世界へと翔こうとする君たちと出会えたことは、私にとって大きな「宝」の一つとなりました。「進路実現」という大きな壁に向かっているから日々成長する君たちの姿を間近で見させてもらったことは嬉しい限りでした。この出会いを与えてくれたことに、まずは御礼を言いたいと思います。ありがとう。

さて、晴れの日を迎えられた現在の心境はいかがなものでしょうか？3年間を乗り切ったという達成感？勉強から一息つける安堵感？濃密な時間を共に過ごした人々たちから離れることになる寂寥の思い？きっと様々な感情が入り混じった、一言では言い尽くせない思いでしょうね。一つの区切りを迎えるということは、自分の気持ちと向き合って、これまでを振り返り、自分の現在の立ち位置を確認し、これからどこに向かうかをプランニングする絶好の機会です。「卒業」を迎えた今、君たちは何から卒業し、どのような新たなステップに足を掛けよう

卒業生に

変化を受け入れ、新しい環境に適応し、工夫しながら学びを継続しました。困難な状況の中でこそ、互いを支え合い、励まし合うことの大切さを改めて認識したことと思います。これからの人生は、これまで以上に変化に富み、予想もつかない出来事に何度も直面するでしょう。しかし、そんな時こそ、中高6年間の経験を思い出し、困難に立ち向かう勇氣、仲間を思いやる心を持ち、変化を恐れず、常に学び続け、自らの可能性を信じ、恐れずに挑戦し続けてください。そして今年創立百年を迎える八頭高の卒業生として、誇りを持って新たな一歩を踏み出してください。皆さんのこれからの人生が、充実したものとなることを祈ります。

しているのか、客観的に自分を見てほしいと思います。

高校という守られた環境から巣立っていく皆さんにとって、これからは「自分」というものが大きく試されます。つまり、他でもない自分自身が道標になるのです。高校で培ったものをしっかりと活かし、どうぞ「自分が目指すもの」を掴みに翔かれることを期待します。自分が成し遂げてきたこと、自分の現在の立ち位置を見失うことなく、毎日を全力で生きて、自分の「揺るぎない軸」を作り上げてください。そうすれば、あなたが目指す「自分」は、遅く形作られていきます。Destiny Lies in Your Hands...

卒業生229人に幸あれ！

三年六組担任 中元 崇博

2022年4月、君たちが八頭高校に入学したのと同じ頃、長男が幼稚園に入園しました。2025年、今やその子は簡単な漢字を読み、ちよつとした足し算や引き算をするのです。背も高くなり、頭のてっぺんは父親の脇腹辺りにまで達しています。ひとの成長に驚かされる毎日です。君たちも同じです。この3年間で大きく

皆さんの毎日を支えてくれたのは、皆さんのご家族です。それは、決して当たり前なことではありません。これから皆さんは、自立と自律を必要とする生活になるでしょう。誰かが何かを自分のためにしてくれること、そのことへの感謝の思いをどうか忘れないでください。

人生、時にはどうしようもなくつらい局面もやってくるでしょう。SEKAINO OWARI「バードマン」から、「どんな日々も何とか繋げてきたからきつと今容赦もなく始まった今日がこんなに愛しいんだ」そう思える日のために。自分を大切に生きてください。

送杜少府之任蜀州

王勃

城闕輔三秦
風煙望五津
與君離別意
同是宦遊人
海內存知己
天涯若比隣
無為在岐路
兒女共傷中

混迷が深まろうが、先行きが不透明だろうが、AIが人類を凌駕しようが、未来は君たち一人ひとりの手の中にあります。どうか力強く生き抜いてください。

3年間、ありがとう。卒業おめでとう。





陸上競技部	第59回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走大会	【男子】3位 山本光空(3-1)、古川大貴(2-3)、太田翼(2-1)、川本優真(2-4) 津村桃汰(1-4)、中村佳叶(2-3)、山本陽仁(1-4) 中国大会出場 【女子】2位 早川瑞絆(2-6)、桑澤めい(2-1)、西尾佳純(2-4)、岸井美緒(3-2)、下田心陽(3-2) 中国大会出場
	男子第66回・女子第38回中国高等学校駅伝競走大会兼 男子第75回・女子第36回全国高等学校駅伝競走大会 中国地区予選会	男子22位、女子22位
弓道	第66回鳥取県高等学校弓道新人戦兼 第32回中国高等学校弓道新人大会鳥取県予選大会兼 第43回全国高等学校弓道選抜大会鳥取県第一次予選会	【男子個人】石場一步(2-2) 第2位 中国新人大会、全国大会出場 岡野達海(2-1) 第8位 中国新人大会 【女子個人】岡嶋千依(2-6) 第6位 中国新人大会 【男子団体】石場一步(2-2)、山本悠央(2-3)、高木佑真(2-4)、長谷坂光(2-5)、能勢陸人(1-4) 県新人戦優勝 中国新人大会出場 【女子団体】加治屋枝琉(2-1)、有本未来(2-4)、平家舞衣(2-4)、竹内愛乃(2-5)、岡嶋千依(2-6) 第5位 中国新人出場
	第32回中国高等学校弓道新人大会	【個人戦】男女 予選敗退 【団体戦】男子 予選敗退 女子 決勝トーナメント進出(順位無し)
	令和6年度第43回全国高等学校弓道選抜大会	石場一步(2-2) 第7位入賞
	令和6年度鳥取県高等学校新人剣道大会	【男子団体】ベスト8 【女子団体】3位 中国大会出場
剣道	令和6年度全国高等学校剣道選抜大会鳥取県予選会	【男子団体】ベスト8 【女子団体】3位
サッカー	第59回鳥取県高等学校サッカー新人大会(兼 令和6年度 第17回中国高等学校サッカー新人大会鳥取県予選)	2回戦 1-0 米西 準々決勝 0-2 米子松蔭 ベスト8
	第25回中国高等学校柔道新人大会	男女とも団体戦予選リーグ敗退
柔道	令和6年度(第47回) 全国高等学校柔道選手権大会鳥取県大会	【団体戦】男子:準優勝 女子:第3位 【個人戦】男子73kg 田口大登(2-1) 優勝 全国選手権出場 男子81kg級 西田聖翔(2-6) 優勝 全国選手権出場 男子60kg級 嵯岡諒汰(1-2) 第3位 女子48kg級 横山佳奈(2-6) 準優勝
	女子テニス	シングルス2回戦敗退 藤原望帆(2-6)
ソフトテニス	第43回鳥取県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会兼 第79回国民スポーツ大会鳥取県予選会	田中煌音(1-3) 東田一樹(2-1)ペア 第3位
男子 バスケットボール	ウィンターカップ2024令和6年度第77回全国高等学校 バスケットボール選手権大会鳥取県予選会	1回戦 55-56 米子高
	令和6年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大会	2回戦 41-95 境高
女子 バスケットボール	ウィンターカップ2024令和6年度第77回全国高等学校 バスケットボール選手権大会鳥取県予選会	1回戦 55-53 米西 2回戦 23-154 倉北
	令和6年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大会	2回戦 67-30 米子高 3回戦 19-204 鳥取城北高
男子 バレーボール	第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会 鳥取県大会	1回戦 2-0 倉吉農業 準々決勝 0-2 鳥取商業
	令和6年度鳥取県高等学校新人バレーボール大会兼 第33回中国高等学校新人バレーボール大会鳥取県予選会	【予選リーグ】 2-1 鳥取西 2-0 米子東 0-2 鳥取商業 【決勝トーナメント】 0-2 鳥取工業 ベスト8 武田 陸(2-5) 新人賞
女子 バレーボール	第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会 鳥取県大会	2回戦 2-0 鳥取敬愛高校 準々決勝 0-2 鳥取城北高校
	令和6年度鳥取県高等学校新人バレーボール大会	【予選リーグ】八頭 2-0 倉吉農業 八頭 0-2 岩美 八頭 2-1 鳥取敬愛 八頭 2-0 米子東 予選リーグ 2位通過 【決勝トーナメント】八頭 0-2 鳥取商業
男子ホッケー	第56回全国高等学校選抜ホッケー大会中国地区予選 令和6年度 第56回全国高等学校選抜ホッケー大会	代表決定戦 8-0 瀬戸南高校(岡山県) 全国選抜大会出場 2回戦 2-0 岐阜各務野(岐阜) 3回戦 2-0 天理(奈良) 準決勝 1-0 伊吹(滋賀) 決勝 4-3 丹生(福井) 初優勝
女子ホッケー	第56回全国高等学校選抜ホッケー大会中国地区予選	代表決定戦 0-0(so0-3) 西京高校
水泳	第17回全日本ユース(U16) 水球競技選手権大会 - 桃太郎カップ	細野楽夢(1-5) 4位入賞 ※鳥取県選抜の一員として山口水球クラブに参加
卓球	男子学校対抗 一次トーナメント 1-3 米東 【男子ダブルス】 前田爽良(1-6)・森田通斗(1-1)組、間屋口大智(2-6)・岡村瞬(2-6)組 ベスト16 【男子シングルス】 間屋口大智(2-6) ベスト16 全国選抜シングルス県予選 間屋口大智(2-6) 1回戦敗退 女子学校対抗 第6位 【女子ダブルス】 中瀬友良(2-6)・岸田佳世(2-4)組、新聞蒼空(1-2)・濱田きらり(1-2)組 ベスト16 【女子シングルス】 森田瑠璃(2-1)、新聞蒼空(1-2) ベスト32	
	令和6年度第61回鳥取県高等学校卓球新人戦大会兼 第52回全国高等学校選抜卓球大会予選会	
バドミントン	男子団体 1回戦 1-3 米子工業 女子団体 2回戦 0-3 倉総産 【男子ダブルス】橋本侑弥(2-2)・中島巨佑(2-4) 1回戦敗退 【女子ダブルス】石破乃愛(2-3)・山根優花(2-2) 1回戦敗退 上村志乃(2-6)・徳安光咲(2-4) 2回戦敗退 【男子シングルス】橋本侑弥(2-2) 1回戦敗退 【女子シングルス】上村志乃(2-6) 1回戦敗退	
	第60回鳥取県高等学校新人バドミントン選手権大会	
スキー	第59回鳥取県高等学校総合体育大会スキー競技の部	【男子アルペン 回転】 森岡岳大(1-4) 2位 中国大会、全国高校総体出場 【男子アルペン 大回転】 森岡岳大(1-4) 6位 中国大会出場
	第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会鳥取県選考会	【少年男子 アルペン大回転】 森岡岳大(1-4) 6位 国民スポーツ大会出場権獲得
	第66回中国高等学校スキー選手権大会	【大回転】 森岡岳大(1-4) 7位
放送	令和6年度鳥取県高等学校総合文化祭放送部門	ビデオメッセージ部門 奨励賞 オーディオメッセージ部門 奨励賞 アナウンス部門 八田 葵(2-4) 奨励賞 中国高校放送コンテスト 出場権獲得 来年度近畿高総文祭 放送部門出場権獲得
書道	第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会書道部門	出品参加
	第56回県高校書道展(第45回鳥取県高総文祭)	大野康平(2-5) 奨励賞 小椋菜々美(1-5) 連盟賞 令和7年度近畿高総文祭出品
吹奏楽	第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会吹奏楽部門	参加
	第47回全日本アンサンブルコンテスト鳥取県大会	管楽8重奏 銅賞
美術	令和6年度第39回鳥取県高等学校総合文化祭 美術・工芸展(第59回県高校美術展)	池本さくら(2-6) 連盟賞 令和7年度近畿高総文祭出品
浄土	第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会日本音楽部門	参加

青春の輝き 栄光の記録

(11月以降の大会)





二年生研修旅行 関西方面



二年一組 北村 憲一

研修旅行はとても楽しい思い出になりました。最初に訪れたのはよしもと新喜劇。笑いが絶えないステージで、出演者のユーモアに引き込まれ、あっという間の時間でした。観客とのやり取りもあり、私たちも一緒に楽しむことができました。

次に京都観光では、歴史的な寺院や美しい庭園を巡りました。伏見稲荷山の鳥居や、清水寺からの景色は特に印象的で、日本の文化の深さを感じました。また、抹茶アイスを食べながら散策したことも楽しい思い出です。

最後にUSJでは、アトラクションの迫力に圧倒されました。ハリーポッターエリアでは、まるで映画の中にいるような感覚を味わい、友達と一緒に大興奮しました。友達との思い出を共有し、笑い合った時間は宝物です。

この研修旅行を通じて、友達との絆が深まり、素晴らしい経験ができました。これからもこの思い出を大切にしていきたいです。

二年四組 平木 壮和

研修旅行で大阪と京都を訪れ、とても充実した二泊三日になりました。大阪では吉本の劇場やユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れ、クラスメイトとたくさん笑い、思い出を作ることができました。大阪ならではの活気を肌で感じました。一方、京都では嵐山などを巡り、日本の伝統文化や京都の町並みに触れることができました。静かで落ち着いた雰囲気の中で、普段とは違う感覚で自分と向き合う時間もありました。この旅行を通して、友達との絆が深まり、学びも多く得られたと感じます。また訪れたと思う素晴らしい旅でした。

二年五組 渡邊 苺花

今回の研修旅行では関西の歴史や文化だけでなく、今まで経験したことのない貴重な体験をすることができました。

一日目は、漫才や新喜劇などを生で見ることでたくさん笑うことができたし、芸人の方からいろいろなことを教えていただき漫才を作り上げることの難しさを知ることができました。

二日目は、自由行動で班のみんなと時間に余裕を持って行動できるよう協力し合うことができました。はじめに考えていた計画のとおりにはいかなかったけど、集合時間のことを考え計画の変更をするなどして良い時間を過ごすことができました。

最終日は、限られた時間の中でたくさん楽しめるように考えて行動するようにしました。大変なこともたくさんありましたが、最後まで楽しむことができた研修旅行となりました。

二年二組 木村 海惺

今回の研修旅行は関西方面への旅行だったが、二泊三日を通して様々な経験ができていい思い出になった。いろいろな施設に行き、関西の文化に触れる事ができた。普段の生活とはまた違う景色や、鳥取にはない食べ物を食べたりと、気持ちの高ぶる三日間だった。自分は特になんばグランド花月での漫才が印象に残っている。終始笑いつばなしでこれが本物の芸人なんだなと感じた。京都観光も自分の食べたいもの、買いたかった物が買えてとても満足している。ユニバも初めてだったのでたのしかった。三日間を通して都会での生活をしてみたいという気持ちが自分の中に出てくるようになった。進路先を決めるうえでも研修旅行で自由に回って街の中が知れてよかったと思う。

二年三組 吾郷 ゆめ

フィッシャーマンズマーケットで海と神戸の町並みを見ながら食べるお昼ごはんは普段食べているご飯より美味しく感じました。特にあまり食べたことのないエリアとムール貝がお気に入りでした。その後に行った新喜劇で見た漫才が私は劇より印象に残っています。元からミキがとても好きで生で見られるだけでも嬉しいのに好きなネタを見ることができて満足しています。ワークショップでもからし蓮根に会えてすごく嬉しかったです。ホテルのベランダから冬の大三角を見ることができました。

京都散策は決めた日程をほとんど忘れてその場のノリで行動したから夜ご飯を食べられずにホテルでお菓子を食べるという結果になったけど楽しかったです。USJは待ち時間がすごくて二個しか乗れなかったけど乗ったことのないアトラクションに乗ることができて良かったと思います。

二年六組 徳永 瑛太

私達はこの研修旅行を通して様々なことを体験し、学んできました。そのたくさんの学びの中で特に「協力」が大切だと感じました。

一日目の研修では吉本興業の方々指導の元、実際にコンビと漫才を作りました。体験してみると相方との綿密なネタ合わせなど相方との協力がなければ成し得ないと感じる場面が多くありました。

そして、これらは学校生活に置き換えることもできます。

例えば、日常生活を初め、行事や進路実現に向けてなど様々な場面で互いに協力し合うことが必要不可欠となります。

この先は進路実現や部活動の集大成に向け更に自分自身を追い込めなければなりません。

当然、必ず思い通りに行く保証もなく、理想との乖離に心が折れることもあるかもしれません。そんな時は仲間との思い出を心の拠り所にながら乗り越えていこうと思います。

楽しく素敵なお思い出になりました！





ウィンター スポーツ実習



一年一組 河上菊菜

私は今シーズン初めてのスノボで、とても楽しみにしていました。スノボのチームは最初からリフトに乗れてたくさん滑ることができました。誰かに教わったのは今回が初めてで、滑らなできれいな滑り方やちょっとした技を教わって、最初よりも上達したのを感じました。

宿では、仲の良い友達と同じ部屋だったので、ご飯もレクリエーションも夜のお菓子パーティーも全部楽しくて、充実した二日間を過ごすことができました。教えてくださったインストラクターの方や、楽しい時間を一緒に過ごしてくれた友達にとても感謝しています。また来年も友達を誘ってスノボに行きたいと思っています。



一年二組 三浦愛

行く前からずっと楽しみにしていたウィンタースポーツ実習だったのでとてもワクワクしていました。インストラクターの方が一から丁寧に教えてくださり、高いところから滑るときも毎回勇気づけてくださいました。二日目の最後にインストラクターの方がおっしゃった「一歩一歩進むことは大変だけど、結局一歩一歩進むのが一番早い」という言葉がとても心に響きました。今は大変でも諦めはいけないということをこのウィンタースポーツ実習を通して改めて思いました。一日目は滑ってもこけてばかりで、二日で滑れるようになるのか?と悩んでいたけれど、諦めずに取り組んだら最後には一番上から下まで一度もこけることなく滑り切ることができました。とても良い思い出になったし、良い経験ができました。

一年三組 山本悠鈴

僕は今回の実習が初めてのスキーでした。はじめはゲレンデを少し上って滑る練習でした。実際に滑ると思ったより難しく、何度もこけてしまいました。午前の最後にはリフトに乗って上から滑りました。思った通りとても難しく、何度もこけてしまいました。しかし、何度も練習するうちにだんだん上達し、午後からはこけることが減りはじめ、二日目の実習ではこけることも少なくなりました。自分が上達したのが感じられ、実習を楽しむことができました。

夕食ではみんなですきやきを食べました。またレクリエーションではビンゴと花火をし、ビンゴでは一等を狙ってみんな楽しんでました。今回の実習ではクラスの仲もより深められたと思います。



一年四組 吉田悠人

僕はスキー研修の上級者コースに参加しました。僕は小さな頃からスキーをしていましたが本格的に教えてもらうのは今回が初めてでした。二日間ですらしながら小回りを滑ることを習得できました。練習ではダブルストックでターンしたり片足で滑ったりするなど初めてのことがありとても新鮮でした。またスキーの技術だけでなく他の組の人ともスキーを通して仲良くなることができたり、クラスメイトと宿泊したりレクリエーションをしたりしてとても仲が深まったと感じました。今回のウィンタースポーツ実習を経て、自然で遊ぶ楽しさを改めて感じました。そして、残り少ない一年生という期間を仲間と大切に過ごしていきたいと感じました。



一年五組 葉狩和香

私は、一月二十三日から二日間、ウィンタースポーツ実習に参加しました。迎えた当日、まずは基礎から。講師の方の話をよく聞き、その場で実践してみる姿が多く見られました。基礎を身につけ、いざリフトへ!はじめは抵抗を感じていた坂の部分も、講師の方の指導の下、少しずつ滑り降りることができました。一日目の終了後、宿で夕食のすきやきを余すことなくいただきました。その後、クラスの仲を深めるレクリエーションとして花火とビンゴを行いました。

二日目は、前日よりパワーアップした練習を行いました。第二リフト以上のコースにもチャレンジし、それぞれのグループがスキー・スノーボードの腕を磨きました。

今回の実習では、クラスの垣根を越えた班で練習に取り組み、技術を習得することができました。

した。残り少ない一年生の生活で、最高の思い出ができました。

一年六組 前田陽斗

私は、今回の実習を通じて怪我なく楽しく滑ることができました。これまでスキーは何年間もしていたので、ある程度はできていたのですが、しかしフォームが全然上手く見えなかったのので上級コースに挑戦して自分の滑りを追求しました。インストラクターの教えを同じコースの人と実践して、難しかったですが着実に体の使い方を覚えることができました。

六組のレクリエーションはビンゴ大会とイントロクイズをしました。先生も一緒に盛り上がり笑顔が溢れるいい時間になりました。実習を終えて、六組の絆はより深いものになりました。スキーについて分かる人が率先して分からない人に教える場面を見て助け合えることができる温かいクラスにもなれました。

